

単元のゴール
<p>○運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。(関心・意欲・態度)</p> <p>○ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができる。(思考・判断)</p> <p>○ボールの方向に体を向けて素早く移動することができる。ボールを片手や両手で操作して味方が受けやすいボールを返したり、相手コートに打ちつけたりすることができる。(技能)</p>

単元に係わる児童生徒の実態 (技能)	単元に関わる児童生徒の実態 (態度)	単元に係わる児童生徒の実態 (思考)
--------------------	--------------------	--------------------

児童はネット型ゲームを学習することは初めてとなる。3年生までに、ゴール型ゲームやベースボール型ゲームを学習したが、ネット型ゲームを学習してはいない。ボールに恐怖心を感じる児童もいて、ボールが近くに来ても手打ちになってしまう児童が多い。

体育の授業は好きですか			
好き	どちらかというが好き	どちらかという嫌い	嫌い
22人	7人	0人	0人
ソフトバレーボールの授業は好きですか			
好き	どちらかというが好き	どちらかという嫌い	嫌い
4人	11人	8人	5人
ソフトバレーボールでどんなことができるようになりたいですか(複数可)			
レシーブでうまくボールをつなげられるようになりたい			18人
サーブができるようになりたい			17人
アタック			14人

多くの児童は体育を好きと感じているもののソフトバレーボールをあまり好きではないと感じている。

これまで行った体育授業では、チームに合わせた作戦を考え、友だちに積極的に伝えられる児童もいたが、多くの児童は教員が提示した作戦を試した後、自分たちのチームに合った作戦を考え深めることはできていなかった。

単元のゴール (技能)
<p>① ボールの方向に体を向けて素早く移動することができる。</p> <p>② ボールを片手や両手で操作して味方が受けやすいボールを返したり、相手コートに返したりすることができる。</p>

単元のゴール (関心・意欲・態度)
<p>① 進んで練習やゲームに取り組もうとする。</p> <p>② ルールやマナーを守り、審判の判定に従いながらゲームを楽しもうとする。</p> <p>③ 場や用具などの安全性を確かめようとする。</p>

単元のゴール (思考・判断)
<p>① ボールをつなげられるような工夫をしている。</p> <p>② ボール保持者とボール非保持者の役割を踏まえた作戦を選んでいる。</p> <p>③ 作戦における動きのポイントを友達に伝えている。</p>

基本的なボール操作の技能の向上とボールを操作できる位置に体を移動するなどのボールを持たないときの動きを身につける運動を行う。また、ソフトバレーボールの楽しさを味わわせるために、感覚作り運動やスキルアップラリーゲームを取り入れる。第6学年のソフトバレーボールにつながるように指導していく。

単元の最初に試しのゲームを行い、「もっとやりたい」「楽しい」という思いを持たせるとともに、基本的技能の必要感を感じさせる。また、当たっても痛くないようやわらかく軽いボールを使用したり、高さやコートの広さを児童の実態に合わせて、ボール運動が苦手な児童でも楽しめるよう、教具や場の設定を工夫することで、すべての児童が意欲的に取り組めるようにする。同時に、ゲームを通してチームで競い合う楽しさに触れさせながら、きまりを守り、正々堂々とプレーすることの大切さや負けた時にも相手の良さを認め、結果を受け入れることも繰り返し指導していく。

どのように動けばパスがつながり、相手コートに返球ができるかを考えさせ、児童が感じた必要感からスモールステップで課題を設定する。作戦についての学習では、「パスをつなぐことが得意」「ねらったところにボールが返せる」など、チームごとの良さを生かした作戦を提示し試すことでチームに合った作戦を選ぶことができるようにする。

授業のねらいと指導内容及び願う子どもの姿		
	◎授業のねらい ○指導内容	◆各時間終了後の願う子どもの姿
1	◎ソフトバレーボールを知ろう。 ○学習、ゲームの進め方や約束 ○用具の準備の仕方	◆場や用具などの安全性を確かめようとしている。
2	◎味方が受けやすいレシーブをしよう。(アンダーハンド) ○レシーブの仕方を理解し、ボールを操作する。	◆進んで練習やゲームに取り組もうとしている。
3	◎ボールの落下点やボール操作しやすい位置に移動してレシーブしよう。(アンダーハンド) ○落下点や返球しやすい位置へ移動しレシーブする。	◆ボールの方向に体を向けて素早く移動することができる。
4	◎パスをつないで、ラリーゲームをしよう。 ○味方で声をかけ合い、チームの動きを意識したパス	◆ボールを片手や両手で操作して味方が受けやすいボールを返したり、相手コートに返したりすることができる。
5	◎チームの課題を考え、チーム練習をしよう。 ○課題を捉え、その練習方法を考える(選択)する。	◆作戦における動きのポイントを友達に伝えている。
6	◎チームの作戦(役割)を考えよう。 ○自チームの特徴から作戦(役割)を考える。	◆攻めを行いやすいようにする作戦を選んでいる。
7	◎作戦におけるボール操作や移動について考えたことを友達に伝えよう。 ○ポジションを確認して連携した動きをする。	◆ボール保持者とボール非保持者の役割を踏まえた作戦を選んでいる。
8	◎仲間と協力して、ゲームを楽しもう。 ○ソフトバレーボール大会	◆ルールやマナーを守り、審判の判定に従いながらゲームを楽しもうとしている。

時	1	2	3	4	5	6	7	8
	オリエンテーション	1集合・整列・あいさつ・健康観察 2準備運動 3感覚作り運動 ○投げ上げキャッチ ○対面パス ○対面アタック						
15	・学習の進め方 ・用具の準備の仕方	スキルアップゲーム ①円陣パス ②パスゲーム ねらい1 ボールをつないでソフトバレーを楽しもう。			ねらい2 チームに合った作戦を考えてゲームをしよう。			
20	・約束やきまりの確認 ・感覚作り運動の仕方 ・試しのゲーム	ボールを持っていないときの動き ・ボールの方向に体を向ける ・落下点・ボール操作しやすい位置 ボールを持っているときの動き ・味方が受けやすいレシーブ ・相手コートへ返球			・自チームの特徴から作戦(役割)を考える。 役割①レシーブ②調整③返球 作戦 相手を意識した攻め方 ・奥や手前に返球 ・空いているところへ返球			
40		ラリーゲーム (対抗戦)			メインゲーム (対抗戦)			
		後片付け・まとめ・整理運動・あいさつ						

ソフトバレーボール大会(リーグ戦)を行う

ストーリーデザイン

1 時間目

- 1 学習のねらいと進め方を知り、単元の見通しをもつ。
- 2 準備運動、感覚づくり運動の行い方を知る。
- 3 スキルアップゲームの行い方を知る。

2～4 時間目

- 1 感覚づくり運動を行う
○投げ上げキャッチ ○対面パス ○対面アタック
- 2 スキルアップゲームを行う。
・①円陣パス ②パスゲーム
- 3 メインゲームを行う
- 4 学習をふり返る。

5～7 時間目

- 1 感覚づくり運動を行う
○投げ上げキャッチ ○対面パス ○対面アタック
- 2 スキルアップゲームを行う。
・①円陣パス ②パスゲーム
- 3 メインゲームを行う
- 4 学習をふり返る。

8 時間目

- 1 リーグ戦を行う
- 2 単元を通してまとめを行う。

スキルアップゲーム

スキルアップゲーム

- ① エンジンパス チームで円になり、セッターが中心になって行う。1パス1点とし、その合計値を競い合う。追加ボーナスとして全員がさわったらプラス10点とする。制限時間内の得点を数える。最初は、ワンバウンドや同じ人が続けて2回ボールに触れることを認める。

チームで、何回続けられるかのラリーゲーム

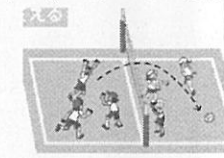


- ② パスゲーム
相手コートから投げ入れたサーブを3人でパスをつなぎ、相手コートに返球する。返球する際、ねらう場所や返球の強さを考えて行う。

本時の目標

作戦における動きのポイントを友達に伝えている。【思考】

本時の展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (○指導◆評価規準△努力を要する児童への手だて)
導入	1 集合・整列・あいさつ・健康観察をする。 2 準備運動をする。 3 感覚作り運動をする。 ○投げ上げキャッチ ○対面パス ○対面アタック	○素早く集合し、元気のよい挨拶をさせる。 ○顔色や体の動きをみて、健康状態を把握する。 ○けが防止のため、そして運動で使う部位の可動性を高めるために準備運動をしっかりとおさえ、一つ一つの動きをしっかりと行わせ、十分に体をほぐさせる。 ○主運動と関連させながら行わせる。
展開	4 スキルアップゲーム ① 円陣パス ② パスゲーム 5 ねらい②チームに合った作戦を考えてゲームをしよう。 作戦における動きのポイント ・ボールの方向に体を向ける。 ・ボールの落下点による守備範囲を決め移動する。 ・両手でやさしくパスをする。 <作戦> (例) ・相手コートに強くボールを打ち返す。 ・相手コートの奥深くにボールを打ち返す。 ・相手のいない場所にボールを打ち返す。 ・ネット近くでボールをキャッチして、トスを上げる。	○相手が捕りやすいボールを考えることで、相手が捕りにくいボールとはどのようなモノなのかを考えさせる。  ○ゲームを楽しむためにより作戦や個人の動きのポイントを押さえる。 ○よい動きや作戦などが見られた場合は、「ボールが落ちてくる場所を見つけて、そこにすばやく動いていたね」、「相手がいない奥の方をねらっていたね」などと具体的に称賛したり、授業のふり返りの場面で学級全体にその時の動きや作戦のよさを紹介したりしていく。 ◆作戦における動きのポイントを友達に伝えている。【思考・判断】 【努力を要する児童 (チーム) への手立て】 △名前を呼んでパスをさせたり、・ちょうどよいパスの高さを確認させたりする。 △ボールが飛んでくる方向・飛ばしたい方向へ体を向けることやボールを扱いやすい位置 (落下点) へ動けるよう助言をする。 【十分満足できる判断できる児童 (チーム) への発展的な内容】 ◎チームの作戦がうまくいくように友達にアドバイスをするように助言する。
まとめ	7 後かたづけをする。8 学習カードを記入する 9 学習のまとめをする。 10 整理運動をする。 11 次時の予告を聞く。 12 挨拶をする。	○自分のチームや他のチームの良かったところを伝えられるよう助言する。 ○めあてを達成したり、少しでも上達したりした児童やチームを称賛する。 ○安全に配慮し、チームで協力し、素早く片付けをさせる。

主体的学び

児童が難しいと感じているルールを簡易化したり、児童がやってみたいと感じているラリーができるようにコートの大きさやメインゲームの人数を工夫したりする。また、パスをつなげる技能、ボール操作しやすい位置への移動などの技能を身につけるために、感覚づくり運動やスキルアップゲームを工夫する。

対話的学び

作戦タイムやチームの練習時間を設定することで、子ども達が対話的に課題解決に取り組めるようする。また、チームの具体的な課題を把握できるよう自分のたちの試合動画を見せ、課題や特徴を考えさせる。

深い学び

学習のまとめに学習内容を身につけた児童を紹介したり、チームの動きとして手本となる動きをしたチームを賞賛することで学習のさらなる学びにつなげる。そして、自己やチームとして技能の向上を感じ取り、児童がソフトバレーボールを楽しいもっとやりたいもっとうまくなりたいと感じられるようにする。

今後の展開

6 時間目

自チームの特徴から作戦 (役割) を考えゲームを楽しむ。

7 時間目

作戦におけるボール操作や移動について考えたことを友達に伝え、ポジションを確認して連携した動きでゲームを楽しむ。

8 時間目

仲間と協力してソフトバレーボール大会を楽しむ。

6 年生

軽くてやわらかいボールを片手や両手で操作したり、チームの連携プレーによる攻撃が成り立つようにすばやく場所を移動したりして、ネットを挟んだゲームができるようにする。

- ・オーバーハンドパスの学習
- ・チームで連携した動きの学習

中学校との接続

ボール用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。中学第1学年及び第2学年では、ラリーを続けることを重視して、ボール運動や用具の操作と定位置に戻るなどの動きなどによる空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。

願う子供の姿

- ・仲間との活動を通して、運動の行い方がわかり、それにかんする技能 (パス、レシーブ、アタック、ボールを持たないときの動き) を身につけ、攻防を楽しむ姿。
- ・チームの作戦を考えたり、課題にあった活動の仕方を考えたり、選んだりする姿。
- ・ルールを守り、協力して活動を行ったり、場や用具の安全に気を配ったりする姿。